

# 1994年に北海道で発生した森林昆虫

ふくやま けんじ ※ まえとう かおる ※ ひがしら やすとも ※※ ほら ひでほ ※※  
 福山 研二 ・ 前藤 薫 ・ 東浦 康友 ・ 原 秀穂

## はじめに

北海道内での森林昆虫の発生状況を北海道林務部道有林管理室、同森林整備課、北海道営林局と各支局、北海道林木育種センター、各大学演習林、民有林所有者等からの発生報告と同定依頼、および北海道立林業試験場と森林総合研究所北海道支所が行った調査観察をもとに北海道森林保護会議でとりまとめた。なお、本稿をまとめるにあたり発生の情報をお寄せいただいた関係各位の方々にご場をお借りして感謝申し上げます。

## 1994年の発生の特徴

1994年は、前年の冷夏とは逆に猛暑と小雨の一年であった。この様な年あるいはその翌年は森林昆虫の発生が多い傾向があるが、どうなったであろうか。

1994年は、カラマツイトヒキハマキをはじめカラマツヒメハマキ、カラマツツツミノガ、ヒラタハバチの1種が同時に3種発生するなど昨年に引き続きカラマツを食害する食葉性の昆虫の発生が目立った。また、チャバネフユエダジャクやシナノキノハムグリハバチ、ナミスジフユナミシヤクなど天然の広葉樹林での食葉性昆虫の発生が目立っている。

さらに、苫小牧のエゾマツ人工林の間伐時にヤツバキクイムシによる生立木枯損被害が出たが、これは今年度の猛暑と小雨も影響していると見られた。

## 新害虫

1993年に発生した新たな害虫としては、恵庭のカラマツ人工林の発生したヒラタハバチの1種があげられる。本種は、前年弟子屈川湯で発生したのものとは別種で種名は確定していないが形態的には非常に似ている。さらに密度はそれほどではないものの苫小牧にはさらに別種のカラマツを食害



写真1 カラマツを食害するヒラタハバチの1種（羊ヶ丘タイプ）の成虫

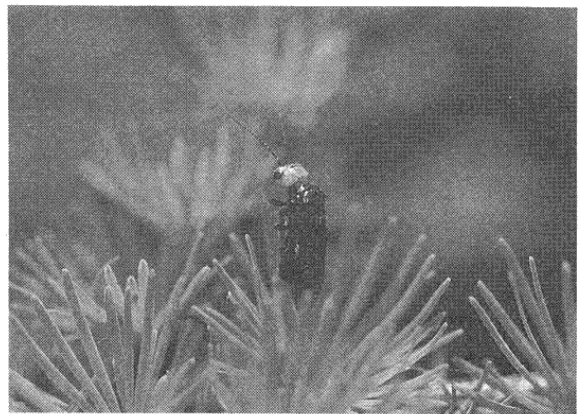


写真2 カラマツを食害するヒラタハバチの1種（丸山タイプ）雌成虫

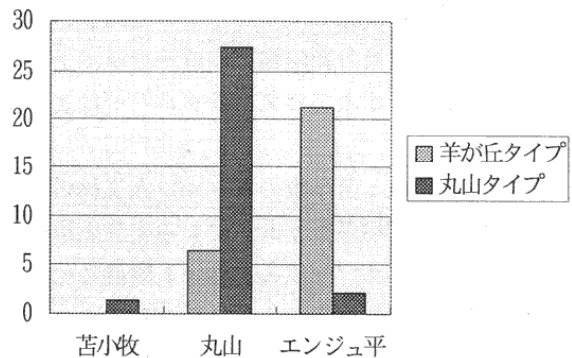


図-1 札幌近郊および苫小牧のカラマツ人工林に新たに発生したヒラタハバチ2種の混在発生状況（土壌の掘取り調査による。単位は個体数/900平方センチ）  
 するヒラタハバチが混在して発生した。苫小牧の種はやや大型で越冬幼虫が鮮やかな緑色である。

これで現在カラマツを食害するヒラタハバチが3種同時発生していることになる。恵庭の種(羊ヶ丘タイプ)と苦小牧の種(丸山タイプ)は混在はしているものの分布を見ると北大苦小牧演習林では1種のみで札幌に近づくほど恵庭の種が優占するようになった(図-1)(写真1, 2)。

### 主な森林昆虫の発生動向

苗畑の昆虫：今年度は特に報告はなかった(表-1)。

吸汁性の昆虫：トドマツオオアブラムシは報告が減少しているがエゾマツオオアブラムシはやや増加している(表-2)。

虫こぶ形成昆虫：今年は昨年被害が見られた札幌市西岡のトドノネオオワタムシの被害が極めて少なかった。札幌のカツラの街路樹でフシダニによる虫こぶ被害が発生(緑化樹の項参考)。

食葉性昆虫：昨年旭川を中心に大規模に発生したカラマツイトヒキハマキは、本年度も同地域に継続発生した。新たにカラマツヒメハマキが早来から夕張、深川に発生した。広葉樹天然林で害虫の発生が継続し浜頓別のチャバネフユエダシヤク、標津のナミスジフユナミシヤク、夕張から三笠、富良野ではシナノキノハムグリハバチが天然林のシナノキに大規模に発生した。苦小牧の道有林でアカエゾマツを加害するマルナギナタハバチが発生した。本種は幼虫が芽を食害するため特に側枝の発達が阻害され、枝張りが異常に小さくなる(原1994)。日高地方のヒダカゴヨウマツ天然林に発生しているマツノクロホシハバチについては、終息に向かいつつある。由仁町のエゾマツ・アカエゾマツ人工林に発生していたオオアカズヒラタハバチは終息。道東の網走地方のヨーロッパトウヒに発生しているオオアカズヒラタハバチはまだ継続している。

穿孔性の昆虫：苦小牧のエゾマツ人工林の間伐地においてヤツバキクイムシによる生立木枯損が発生した。アカエゾマツ人工林でも間伐時にヤツバキクイムシが大発生する可能性が指摘され、今後のアカエゾマツやエゾマツの人工林の取り扱いに注意する必要がある。

新梢・球果の穿入昆虫：特に報告はなかったがカラマツなどにはカラマツタネバエがかなり食害しているようである。

緑化樹木の昆虫：札幌市の新興住宅地のカツラの街路樹でフシダニの1種による被害が発生している。本種はカツラの葉に多数の虫こぶを作り葉が赤変する。札幌市のイチイのナガチャコガネによる被害は報告は少なかった。苦小牧と白老のナナマカドの街路樹でヒゲナガハバチの被害が発生した。

### 1994年に報告された関係文献

- 福山研二：北海道でウダイカンバとトチノキに同時大発生したクスサン, 森林防疫, 43 (4) . P.9-13, 1994. 4
- 福山研二：平成5年度第9回北海道森林保護会議報告, 森林保護, (240) . P.9-9, 1994. 4
- 福山研二, 佐々木克彦, 中津篤：平成6年度北海道保護事業推進協議会, 森林保護, (243) . P. 34-35, 1994. 10
- 福山研二, 前藤薫, 東浦康友, 原秀穂：平成5年度に北海道で発生した森林昆虫, 北方林業, 46 (11), P.21-24, 1994. 11
- 福山研二, 坂本泰明：トドノネオオワタムシの加害によるゴール化とヤチダモの生理的变化, 応動昆・昆虫平6 共支講, 6, 1995. 1
- 福山研二, 尾崎研一, 伊藤賢介, 竹田繁義：風害後40年後の石狩川源流のヤツバキクイムシ, 北方林業, 47 (2) . P.14-15, 1995. 2
- 福山研二：森林の持つ制御機構を生かした総合防除体系, 林業技術, (636) , P. 17-19, 1995. 3
- 伊藤賢介：フェロモントラップによるヤツバキクイムシのモニタリングの可能性と問題点, 北方林業, 46 (11) , P. 285-288, 1994. 11
- 秋田米治：クモは森林づくりに役っています, 北の森林国有林(広報) . (10) , P. 6-7, 1994. 10
- 秋田米治：北海道の森林環境とクモ類の生態, 森林防疫, 43 (5) , P. 2-7, 1994. 5
- 秋田米治：トドマツ幼齡林におけるクモ相の季節変化と年次変化, 日林論105, P. 535-537, 1994. 4
- 秋田米治：トドマツノハダニ, 森林昆虫一養賢堂, P. 405-451, 1994. 1
- 秋田米治：捕食天敵とその利用(2)クモ類, 森林昆虫一養賢堂, P. 108-108, 1994. 1
- 秋田米治：クマイザサ地のクモ相, 日本林学会北海道支部論文集, (43) , P. 16-18, 1995. 2
- 尾崎研一：天然林を伐採すると木は枯れるか? 北方林業, 46 (5) , P. 113-116, 1994. 5
- 尾崎研一：センダイムシクイへの赤い卵の托卵例, Strix, 13, P. 227-229, 1994. 12

Ozaki, K. : Role of Fundatrix and gallicola in the gall formation in *Adelges japonicus* (Monzen)(Hom, Adelgidas), Journal of Applied Entomology. (118), P. 151-157, 1994. 8

Ozaki, K. : An inclusive fitness model of inter-gall migration in aphids. Proceedings VI International Congress of Ecology. 6, P. 17-17, 1994. 8

原 秀穂 : アカエゾマツを加害するナギナタハバチについて, 光珠内季報. 96 : 13-15, 1994

小野寺英美・小山一治・千葉保夫・安田幹男・伊藤雅之・原秀穂, 粘着テープによるオオアカズヒラタハバチの防除効果について(第2報), 5年道林研論 : 142-143, 1994

原 秀穂・東浦康友 : カラマツの食葉性害虫ミスジツマキリエダシヤクの大発生終息要因, 応動昆 39:15-23, 1995

東浦康友・原 秀穂 : マツを枯らす害虫, マツノクロホシハバチ, 光珠内季報 98 : 16-19, 1995

前藤 薫・尾崎研一 : オオアカズヒラタハバチの大発生とそれに伴うエゾマツの枯損, 日林誌 76 (6) : 569-575, 1994

前藤 薫・福山研二 : カラマツ林にヒラタハバチが大発生, 森林保護 243 : 33-33, 1994

(\* 森林総合研究所北海道支所)

(\* \* 北海道立林業試験場 )

表-1 苗畑の昆虫および根部を加害する昆虫

種 類	加 害 樹 種	発 生 地 (市町村・発生面積㎡)
ナガチャコガネ	イチイ・ツツジ類	被害報告はあまり寄せられていない。

表-2 オオアブラムシ類の発生と防除面積 (要防除面積, 実面積を含む)

所 管	トドマツオオアブラムシ				エゾマツオオアブラムシ			
	発生面積(ha)	本 数	実面積	防除面積ha	発生面積(ha)	本 数	実面積	防除面積(ha)
北海道局	460.45	15,414	86.81	73.63	319.96	16,414	97.12	85.56
函館支局	6.00	4,000	2.00		0.0			
旭川支局	0.0							
帯広支局	0.0				34.0	29,800	29.0	34.0
帯広支局93年度分					276.0	274,500	214.0	276.0
北見支局	0.0				0.0			
小計	466.45	19,414	88.81	73.63	629.96	320,714	340.12	395.56
道有林	100.96	197,500	97.17	97.17	670.12	860,600	610.53	617.58
民有林	318.30	547,572	236.90	316.30	212.50	395,269	171.80	211.90
小計	419.26	755,072	334.07	413.47	882.62	1,255,869	882.33	829.48
合計	885.71	774,486	432.88	487.10	1512.58	1,576,738	1,222.45	1,225.04

発生面積は被害区域面積

表-3 吸汁性の昆虫

種 類	加 害 樹 種	発 生 地 (市町村・発生面積ha) 摘要
アオキシロカイガラムシ	イチイ	札幌市内の庭園
イヌガヤワタカイガラムシ	イチイ	札幌市内の庭園
イチイカタカイガラ	イチイ	報告ないが, 帯広市内, 釧路市, 足寄町などに発生
トドノネオオワタムシ	トドマツ・ヤチダモ	羊ヶ丘ペンシルバニアトネリコ人工林にて被害が発生
フシダニの1種	カツラ	札幌市内の住宅地

表-4 虫こぶ形成昆虫

種 類	加 害 樹 種	発 生 地 (市町村・発生面積ha) 摘要
エゾマツカサアブラ	エゾマツ	報告なし
クリタマバチ	クリ	報告はないが余市などのクリ園には常時発生している模様

表-5 食葉性の昆虫

種 類	加 害 樹 種	発 生 地 (市町村・発生面積ha) 摘要
カラマツツツミノガ	カラマツ	美唄(246.3)士別(4)三笠(1238.11)
マエアカスカシノメイガ	ヤチダモ	札幌市では発生減少
カラマツイトヒキハマキ	カラマツ	士別(13) 釧路(38.7)和寒(33.15)下川(2.8)風連(35) 旭川(500)鷹栖(230)比布(20)東神楽(190)美瑛(4500) 東川(100)当麻(162)愛別(20)名寄(12)美深(5.12)津別(65) 上富良野(89.84)中富良野(12.24)女満別(1.04)美幌(65)

トドマツアミメハマキ	トドマツ	ニセコ(0.8)
カラマツヒメハマキ	カラマツ	早来(800)三笠(113.04)夕張(36.76)深川(315.06)幕別(420)
クロネハイイロハマキ	ヤチダモ	報告なし
ドクガ	グイマツ	報告なし
マイマイガ	カラマツ	三笠(28.68)
ホシシャク	ヤチダモ	報告なし
ミスジツマキリエダシャク	カラマツ	報告なし
チャバネフユエダシャク	イタヤカエデ	浜頓別(140)中頓別(187)枝幸(348)歌登(325)紋別(3588)
ナミスジフユナミシャク	コバハンノキ 広葉樹天然林	月形(0.48) 標津(844.28)
キバネセセリ	ハリギリ	報告なし
オオアカキリバ	ムクゲ	終息
オオアカズヒラタハバチ	エゾマツ アカエゾマツ ヨーロッパトウヒ	千歳市、長沼町は完全に終息。 網走から斜里一円で継続発生
カラマツキハラハバチ	ダイマツF1	厚岸(4)
シナノキノハムグリハバチ	シナノキ	夕張(48.16+12286.03)栗山(1296.77)栗沢(1160)富良野市東大富良野演習林で全域に発生
マツノキハバチ	ハイマツ	弟子屈硫黄山(2)
マツノクロホシハバチ	キタゴヨウマツ	様似町(1399.52)天然林に継続発生。 枯損木もでている模様。
ヒラタハバチの1種の1	カラマツ	弟子屈町川湯(247.5)
ヒラタハバチの1種の2	カラマツ	恵庭(51.74)
ヒラタハバチの1種の3	カラマツ	苫小牧(面積不明で被害は中程度)
カンバコンボウハバチ	シラカンバ	報告なし
ヒゲナガハバチの1種	ナナカマド	苫小牧(2000本)白老(180本)街路樹
ハムグリバエの1種	ハリギリ	札幌市篠舞(0.5)
ハンノキハムシ	ハンノキ	報告なし
ヤマナラシハムシ	ポプラ	札幌市羊ヶ丘(0.1)
イタヤハムシ	イタヤカエデ	被害は終息
アカタマゾウムシ	ヤチダモ	報告なし

表-6 新梢・球界の穿入昆虫

種 類	加 害 樹 種	発 生 地 (市町村・発生面積ha) 摘要
マツノシンマダラメイガ	マツ類	瀬棚海岸林(0.5)
カラマツタネバエ	カラマツ	報告なし 被害実態等を調査中

表-7 穿孔性の昆虫

種 類	加 害 樹 種	発 生 地 (市町村・発生面積ha) 摘要
シラカバナガタムシ	シラカンバ	報告はないが継続発生していると思われる。
マツキボシゾウムシ	マツ類	報告なし
カラマツヤツバキクイムシ	カラマツ	上富良野(0.6)
ヤツバキクイムシ	エゾマツ	苫小牧(0.4ha、100㎡、200本)人工林間伐によるもの
スギノアカネトラカミキリ	スギ・ヒバ	松前町、福島町、七飯町に潜在的に発生している。
オオゾウムシ	トドマツ	函館(100㎡)林外に積んだ間伐材に発生
クロコブゾウムシ		